

## 第1回燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域 計画申請書の概要

## ○ 商用車の潜在的需要（需要基準）

評価項目	必須 or 加点 <sup>※</sup>	愛知県の状況
県内に登録されている車両の輸送トンキロ数が50億トンキロ以上であること	必須	13,898,072 千トンキロ
県内の高速道路における大型車走行台数が10,000台/日以上であること	必須	19,113 台/日

## ○ 地方公共団体の意欲的な取組み（地方公共団体基準）

分類	評価項目	必須 or 加点 <sup>※</sup>	配点	愛知県の状況
協議会等での需要のとりまとめ	協議会において普及に向けた議論が行われている	必須	なし	実施済み
	需要のポテンシャルが高いエリアが具体的に検討されている	加点	5点	県内6エリアを想定
	上記のうち、特定のエリアにおいて商用車の導入見込みが確認されている	加点	10点	導入見込みをヒアリング済
	上記のうち、特定のエリアにおいて水素ステーションの整備または増強の計画が検討されている、または既に商用車に対応した規模の水素ステーションが整備されている	加点	10点	県内で大規模モデル（500Nm <sup>3</sup> /h以上）が3基設置済
	周辺の地方公共団体との将来的な連携に向けた検討がされている	加点	5点	隣接自治体と調整中
2030年度の商用車導入目標の設定	FC商用車の導入目標が設定されている	必須	なし	7,000台の目標を設定
	上記目標を対外的に公表している	加点	5点	令和7年2月議会や3月の総決起集会で公表済
	目標が普通貨物車及び乗合用普通車の合計の3%を大きく上回る	加点	5点	大きく上回る（3%は約4,800台）
	目標達成に必要な水素ステーションの基数及び規模が検討されている	加点	5点	FC商用車に対応した水素ステーションが74基必要と試算

	車両導入及び水素ステーション整備の中間目標が設定されている	加点	10点	設定済
	FC 商用車の導入が進んでいる	加点	10点	FC バスを中心に導入が進んでいる
地方公共団体による支援	①車両導入費支援 ②水素ステーション整備費支援 ③水素ステーション運営費支援 または燃料費支援の3つの支援が予定されている	必須	なし	実施予定
	小型FCトラック導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	大型FCトラック導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	FCバス導入に対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	水素ステーション整備に対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	水素ステーションの運営に対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	FC商用車のユーザーに対する十分な補助が予定されている	加点	5点	予算措置済
	上記以外の独自支援が予定されている	加点	5点	水素を運搬するトレーラーの導入補助など独自支援を予定

※ 必須 or 加点欄について、必須は申請に向けて必ず満たす必要のある項目、加点は満たす必要はないが審査のうえで加点される項目。